広報
あかいけ
発行所　赤池町役場　　編集　総務課 文書広報係　　No.１５３号

町の人口
（50年１月末日現在）

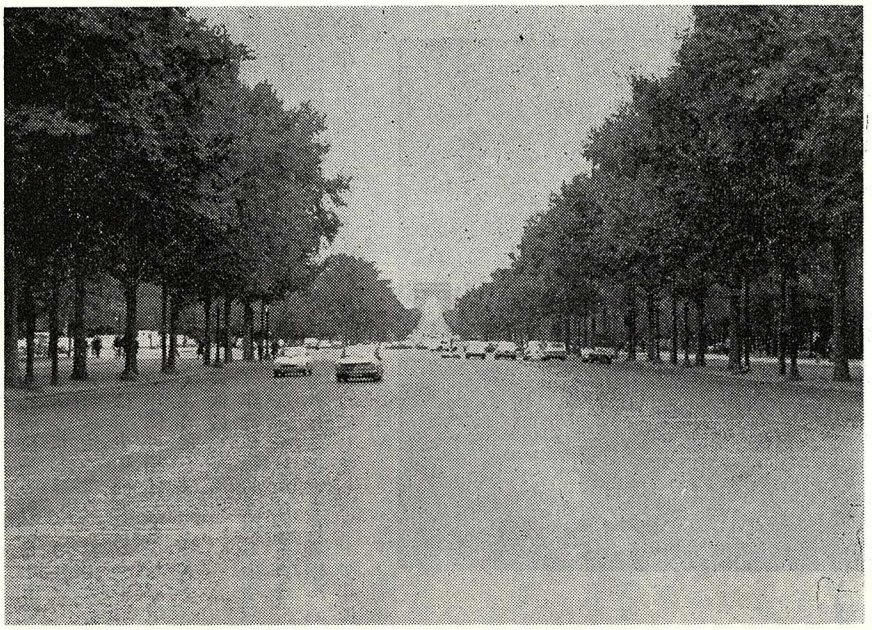
男	4，328人
女	4，809人
総人口	9，137人
世帯数	2，790世帯

○　とじて保存して下さい。　○

渡欧を終えて（四）

赤池町長　池永輝昭

朝の八時にテルミーニ駅を出たTEE（特急列車）R68はイタリア本土を北上してフイレンツェ経由で予定どおり十二時過ぎボローニア駅に到着、ボローニア大学の竹下教授が、我々をホームまで出迎えてくれる。駅近くのレストランで昼食しながら、午後の見学日程を打ち合わせすれども、どこの工場も二時までは昼休みとのこと故、その間イタリアの政治経済教育等の現状について詳しく聞かせてもらった。



（凱旋門通り　パリーにて）

イタリア滞在八年にもなる教授の話は、職業柄非常に巧みで、短期間の視察をして感想文を書いた報告書等と違い誰よりも確かな見方をしていると思える。

人口五十万のこの市は、第二次大戦中イタリア解放のため、ナチスと闘って最後まで抵抗を続け、決してドイツファシストに降伏しなかったことで有名である。

レジスタンスに倒れた二千人の人達の写真は、市庁舎の壁にはめこまれているとのこと。

イタリアの赤い州といわれるエミリア、ロマーニヤ、ウムブリアトスカナ三州の中でもボローニアは、フィレンツェと並んでその中心的役割を果たし、歴代共産党員の市長で、市政に責任をもっているのは共産党、社会党、プロレタリア統一社会党で革新連合地方版といったところで、イタリアのなかでも特に左派勢力の強いところである。

行政負担による福祉行政はかなり進んでいるが、市民の生活はそれ程豊かではなく、企業経営者と労働者の所得格差は著しく、ストライキによる操業停止は、たびたびで、日本から視察にきた京都大学のある教授は、これ等の工場がフル操業すれば日本のGNP（国民総生産）をはるかに追い越すであろうと驚ろいたそうだ。

教授の大学も本来ならば十月一日より新学が始まるところだが、賃上げストのため十四日まで休校で十五日からは、今度は学生が一ケ月間のストライキのため学校に行くのは、十一月十五日からで当分はひまだと、のんきなことをいって我々を笑わせる。

たびたびのストで教授の給料は高いが政府財政が、破産状態のため既に九ヶ月間給料は遅配でいつもらえるかの見通しもなく生活もギリギリに切り詰めているとのこと。財政を上まわる行政需要は、市の台所も当然赤字でその累積は膨大なもので、このツケは一体誰が何時払うのかと、まゆをひそめる。話なかばで店を出てタクシーをひろい、目的のタイル工場へ向け出発する。

車は「太陽の道路」といわれる高速道路をものすごいスピードで走り、はてしなく続くオリーブの木とブドウ園を左右に見ながら百粁程離れたフェンツアの町に一時間程で着く。

とある一軒の陶器店を訪れ工場見学の許しを乞うと心よく承諾し案内をしてくれる。十人程の若い娘が馴れた手付きで下絵書きする作業は特に我々の目を楽しませるここでもやはり我々の質問には懇切丁寧に教えてくれた。

市民のための陶芸教室や博物館等は折角の機会だから是非立寄ようにすすめられる。

二時間程で店を出て教えられた陶芸教室を訪れるも本日は午前中で終了とのことで、生徒の作業場は見ることができなかったが管理

(2)ページへつづく

人の好意で作品の展示場だけ案内してもらえる。

素人の作品とは思えない程の出来映えで、こんな素晴らしい作品の製作方法を希望者は誰でも自由に教えてもらえるこの町の人々が羨しく思え、さすがにこの国一の陶器の町として今日まで栄えてきた理由の一端が伺える。

今でも国際的な展示会や博覧会などがローマやミラノの大都市ではなく、この小さな田舎町で開かれることをみてもこの町の人々が陶器に寄せる関心が如何に高いかがわかる。

我が国の陶器産業がややもすれば排他的となり施策や焼成等について秘密主義をとり特殊な産業として今日まで存在していることと比較して非常に興味深いものがある。町の人と一諸に栄えてゆくこの町の陶器産業の将来に栄えあれと願いつつ……

次号へつづく

学年末の少年の非行防止について

最近の少年非行は、遊び型化の傾向が強くなってきています。

特に、学年末は卒業、進学、就職をひかえ気のゆるみ、あるいは心の動揺などから少年が非行に走りやすい時期です。したがってこの時期の少年非行を防止するためには、父兄は勿論、住民の皆さんの御協力をお願いします。

（学校）

日頃から生徒、児童の行動に関心を示すとともに、非行に走り、あるいは非行に走るおそれがある場合は家庭、少年補導センター、警察などと連絡をとり、早期補導による未然防止を図る。

（家庭）

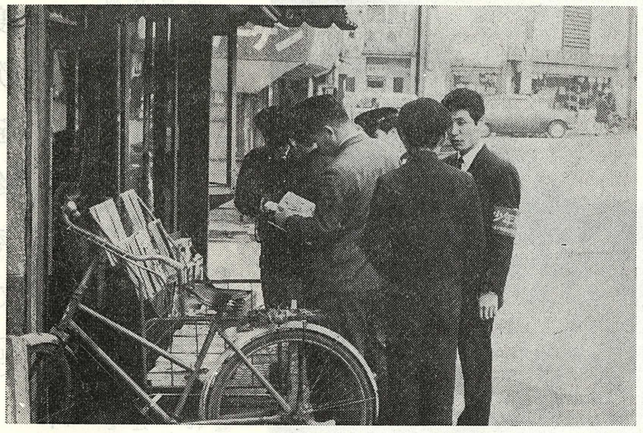
明るいふん囲気の家庭づくりに心がけ、子供の悩みや不満など気軽に話し合えるようにしましょう。子供は正しくしつけ、放任と過保護はつつしむようにして下さい。子供が進学や就職に失敗しても暖かい思いやりのある態度で接し劣等感やざ折感をとり除いてやるようにしましょう。又、子供が非行に走ったり、被害にあったときは、少年補導センターや警察署少年係に相談して正しい道へ導びくようにしましょう。

（地域）

非行を犯している少年や家出少年などを見かけたときは、愛の声をかけるとともに警察へ連絡するようにしましょう。少年に悪い影響を与えるエログロ映画、ポスター、雑誌や危険な遊び場、がん具などを追放して、明るい町づくりに心がけるようにしましょう。

毎月第三水曜日は

「少年を守る日」となっています。少年を悪の手から守って下さい。

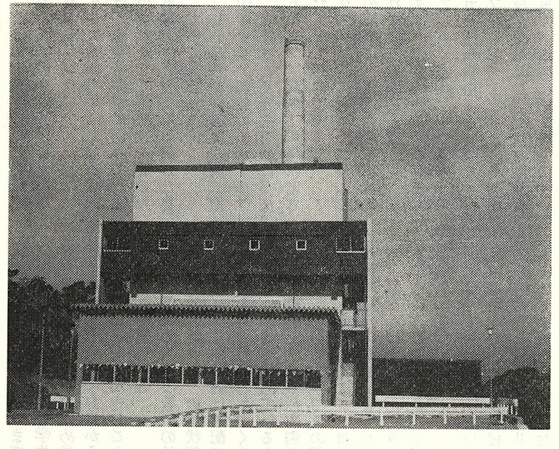


（町かどで少年を補導し
悪の手より守る少年補導員さんたち）

下田川じんかい清掃センター落成する！

町民念願のじんかい処理場が三月四日落成されました。このじんかい処理場は、赤池町、金田町、方城町、糸田町の下田川四ケ町からなり建設された清掃センターは公害防止に意を投じ、マルチサイクロンに電気集塵機を併設された近代的な処理施設のものです、煙突も海抜百三メートルの高地に建設して煙の拡散をはかり大気汚染を防ぎ、また汚水は構外に排出しないように設計され、機械部分は全部上屋でおおい、臭い、騒音などの防止につとめ、すぐれた施設です。又、昭和五十年度には、老人福祉センターを建設する予定です。

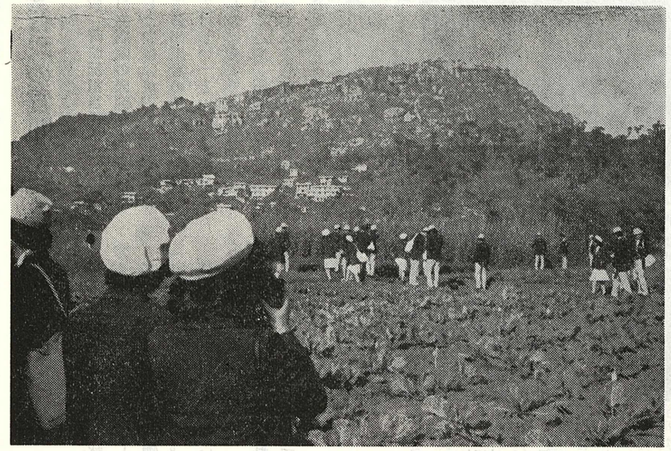
今後、住民の皆さんの御理解と御協力をお願いして清掃センターの発展と住みよい環境整備のもとで、明るい町づくりに御協力をお願いします。



（近代的スマートな下田川清掃センター全景）

福岡県青年の船に参加して

赤池町車道　松　下　英　典



第四回福岡県「青年の船」は二月一日から二月十四日まで二週間フイリッピン共和国（セブ・マニラ）を訪問し、研修活動、親善使節としての役目を持って航路についた。

出発に先だち、赤池町民会館で壮行会まで開かれ、町長さん始め議長さん、教育長さん、公民館長さん方の暖かい御激励及び、色々な御配慮を戴いて、心から深く感謝しながら参加する者としての重責をひしひしと感じた。

二月一日十一時、いよいよ出発低くたれこめた雲の中に県内各地から多勢の方々の見送りを受け、団員三百二十名余りを乗せた「にっぽん丸」（一万トン）は博多港を静かに出航した。

二日目は朝からやゝしけ気味の航海で、船酔いをする者が続出。三日目は前日とは異なり晴天、気温も一時間ごとに高くなり、昨日までは暖房だった船内が今日からは冷房が入るようになった。本日正午で博多とセブ市との中心点を通過する。

四日目の午後から第二次世界大戦で当地方の空や海で尊い命を失った方々の戦没慰霊祭を船上で行う。団員の中にも関係遺族の方が多数おられた。

五日目朝、二時頃南太平洋上の澄んだ空にひときわ明るい光を放つ南十字星を見た。

いよいよ午後二時セブ港に入港一時間前ごろから歓迎の小船が何隻もエンジンの音けたたましく「にっぽん丸」の周りをとびまわる。簡単な上陸オリエンテーションの後、タラップをおり、初めて外国の土をふんだ。

美しいフイリッピン女性に貝で作ったレイをかけてもらい、緊張と感激と未知の国への期待で、こわばった顔にむりに笑顔を作りながら感謝の挨拶をして、歓迎式場へ行く。夜は、セブ市の名士を招いての船上パーテイを行った。

六日目、サンカルロス大学でスポーツ交歓を行う。フィリッピンはバスケットが国技であるせいか学生達も皆バスケットが好きであったが日本の柔道競技も大変喜ばれた。

体育館で日本とサンカルロス大学のチームが対決している間、我々は学生とスポーツや青年の生活などについて、ゲームそっちのけで話し合った。フイリッピンの人々は大変陽気で人なっこく、おまけに女子学生は皆美人揃いで、我々男性はすごく感激した。

午後の自由時間は大学で知り合った女子学生が市内を案内し買い物につき合ってくれた。

夜、セブ港をマニラ港に向け出港翌々日マニラ港へ入港。簡単なオリエンテーションの後すぐ上陸、そのまま、バスで市内見学。

途中東洋で一番古く、アメリカのハーバード大学より二十年以上も古いと言われている伝統あるサントーマス大学へ。ここで一時間以上の交歓会。マニラの人々は日本人ずれしていて大変冷淡と話には聞いていたが、それでも学生は親切に大学構内を案内して説明してくれた。

どうも「日本人の歓迎」と「フイリッピン人のやゝ無関心」は同程度の態度で表われていらるらしい。

セブ市、マニラ市とフイリッピンに上陸し強く印象づけられたことは生活に貧富の差がかなり激しいことである。

欧米製の高級車を乗りまわして豪勢な家に住んでいる人がいるかと思えば、傾いた小屋から素足で破れ汚れたシャツを着た子供や老婆が出て路上で煙草のバラ売りをしている姿を見掛ける。

しかし下層階級と言われる人も上流階級の人も大変陽気で明るくのびのびして生活の差別など気にもかけていない様に見受けられるのは国民性の違いであろうか、又非常に正直である。

セブ市で買物をしておつりをもらわずに行きかけると追いかけて来ておつりを手渡し、バギオでは品物を店に忘れていたといってわざわざバスまで持ってきてくれた。

これが若し日本の観光地だったらと考えざるを得なかった。

この様な十四日間の「青年の船」の生活は自分の人生に数多くの教訓と反省を与えてくれた。そして良い体験の場であったと思う。

このようなフイリッピンで学び得た貴重な経験を生かして、若い仲間とともに明るい豊かな社会の実現のために地域社会に於いて少しでも貢献できるように努力して行きたいと思う。

〝行政の質問にお答えします〟

先般、町時報担当係に一住民から「町立病院の医師が他の病院に比較して少ないが、もっと医師を増して外来患者の待ち時間を短かくしてほしい」という文が寄せられました。そこで、本日は町長に病院のことや、医師のことについて聞いてみました。

以下は編集員と町長の対談の内容を取りまとめて掲載しました。

文中「編」とあるのは編集員

「町」とあるのは町長です。

「編」　現在、医師は何名いますか。

「町」　町立病院には、常勤医師として内科二名、外科一名ですが近くの町立病院比べますと、指摘されているように、確かに少ないと言えます。

この少ない人員をカバーするために、久留米大学、熊本大学、九州大学などから一週間に一日～二日の予定で応援に来てもらっております。

「編」　常勤医師の確保について今迄にどのような策がとられましたか。

「町」　先程の久留米、熊本、九州大学病院はもとより、長崎大学山口大学等にも出向いて行って、医師派遣方の要請をしております。

又医学雑誌等にも医師募集の広告掲載をしておりますが、全国的な絶体数が不足している現在なかなか思うようにはいかないと思います。

「編」　病院の規模からみても、何名位の常勤医師が必要ですか。

「町」　現在の病院の患者数から考えて、内科二～三名、外科二名は最低の必要数だと思います。

患者さんから、「外来の待ち時間がどうにかならないか」とよく聞かれます。私も一昨年秋入院しておりましたが、たしかに外来の待合は患者で一杯のようです。又消防署の救急車がよく来ます。先生方は一生懸命やってくれています。

救急車で患者さんが運ばれて病室に入りますと、先生達がつきっきりで、診療や指示をしています。

このような時には、外来の患者さんには待っていただくような事になります。

「編」　大体の事情はわかりましたが、医師確保の具体的な対策をしていますか。

「町」　先程も申し上げましたが私達執行部は勿論の事、病院の院長や町議会の中にある町立病院対策特別委員会の方々にも、お骨折をいただいておりますし、全力を傾注して医師確保をして、住民（患者等）の方に信頼のできる充実された近代的病院づくりを目指しております。

筑豊地区の市立や町立などの公立病院は、本町と同じように医師不足に悩んでおります。

田川地区では最も大きい総合公立病院でも医師数が充足できないと言うようなことを、よく耳にします。

医大の先生方からは、田川地区は大学から距離的に遠いからと、苦情を言われます。

福岡市から車で一時間三十分、久留米から二時間、熊本からは三時間かかります。そして筑豊に来るには、冷水峠や八木山峠の難所があります。

冬などは道路が凍結して交通が困難になります。このような状態にもかかわらず、遠くから来て下さる先生方には、非常に感謝をしております。

この様な実態は、福岡県だけでなく、九州、四国や離島、東北、北海道のへき地では、まだまだひどいと言われています。

又、確保した医師の定着化についても、町と病院と町議会との三者が一体となって努力をして行きたいと考えております。

当町には、医療機関は上村医院と町立病院の二つしかありません。

町民九千人の健康を守り、明るい赤池町を築きあげるためには、医師に一年でも二年でも永く居て頑張ってもらわなくてはなりません。

住民の皆様にもこのようなことをよく理解していただいて、御協力をお願いしたいと思います。

「編」　どうもありがとうございました。

なお、住民の皆様、明るい住みよい赤池町にするためにも健康に充分注意して下さい。

（診療待ちする患者さんたち　町立病院にて）

昭和五十年度第一回（春、秋）狂犬予防注射実施日程はつぎのとおりです。

◎4月3日　草場公民館10～10時30分　老人ホーム11～12時　上野小学校13～15時

◎4月4日　八区公民館10～12時　赤池商事前13～15時

◎4月7日　赤池町役場10～15時

なお、登録代金三百円、注射代金三百五十円です。

剣道初段に藤井、松尾の両君合格する！

藤井真如君

松尾浩司君

三月十七日、福岡県剣道連盟主催により、初段から三段までの筑豊地区（田川支部、直鞍支部、嘉飯山支部）昇段審査が、田川市三井体育館において行なわれ（参加者百三十名のうち女子十五名）当赤池中学校からも二名受審し、優秀な成績で合格いたしました。

中学二年生

藤井真如君（十四才　西組）

松尾浩司君（十四才岩屋組）

両君、昇段おめでとう！

第二回剣道少年部員昇段審査に昇段する！

第一回級付審査を昭和四十九年七月二十八日行ない、その後暑中稽古、寒稽古と相当厳しい修行に耐え、六ケ月間の成果を発揮すべく、第二回昇級審査を三月二日午後三時から町民会館大ホールにおいて三十名の審査希望者を対象に伊川会長から激励の言葉をうけ定刻審査を実施いたしました。

当日は、日ざしが会場いっぱいに差し込み暖かい好日和でした。

礼儀、姿勢、打撃、発声共に第一回とは見違える様な上達であることは参観された父兄におかれても感じた事と思いますが、審査員の諸先生方も講評において激賞され、かつ、緊張感溢れたなかに午後四時十分盛会のうちに終了いたしました。

参考までに上位昇段部員及び低学年優秀部員はつぎのとおりです。

三　級

海野法寿（中一）
早麻義隆（小六）
住藤徳久（小六）
中野雅治（小六）
佐々木淳（小六）
太田喜勝（小六）

準　三　級

柴田高志（小六）

四　級

立花靖士（小五）
白石　史（小五）
池田豊士（小六）

準　四　級

芹川良江（小六）

五　級

近藤真紀（小三）
木月章貴（小三）
野田昌信（小三）

準　五　級

有吉　淳（小三）

六　級

太田公博（小二）

剣道居合道部 昇段審査に全員合格する

三月九日（日）午前九時三十分から福岡市立体育館において福岡県剣道連盟居合道部主催による初段から五段までの昇段審査が行なわれました。

当町剣道居合部からも四名が受審し、日頃の猛練習が実り、全員優秀な成績をもって審査に合格いたしました。

参考までに流派別、氏名、段別をつぎのとおり紹介いたします。

1、英信流

有吉政広　三段合格
早谷　孝　三段合格

2、新影流

武末一郎　三段合格
上村常夫　二段合格

郵便局の簡易保険で楽しい旅を

のんびり、ジックリ腰を落ち着けた旅をしてみませんか。

家族や若い人のグループ向きで節約レジャーにはピッタリの宿が全国七十カ所にある保養センター加入者ホーム、かんぽーる京都です。

大きな自然に抱かれて日頃ご無沙汰している人にお便りするのも楽しいことです。

簡易保険加入者が利用できるお宿は

◎〔保養センター〕

全国で五十六カ所で今後も各地に増設を予定しております。

一泊二食で二千三百円程度です。

◎〔かんぽーる京都〕

簡易保険会です。

一泊食事は別で二千三百円程度です。

◎〔加入者ホーム〕

全国で十三カ所あります。

短期の場合は一泊二食で二千円程度。

長期は一年から五年まで宿泊できます。

単身用と世帯用があります。

くわしい事は、郵便局へお問い合せください。

福岡県知事選挙
福岡県議会議員一般選挙　4月13日が投票日
午前7時～午後6時

赤池町議会議員一般選挙　4月27日が投票日
午前7時～午後6時

明るく正しい選挙推進に　有権者の皆さん御協力お願いします。
あなたは選挙人名簿に登録されていますか。

赤池町選挙管理委員会　赤池町明るい選挙推進協議会

お知らせ

福岡県警察官の募集案内

1、第一次試験日
昭和50年5月25日（日）

2、受付期間
昭和50年4月16から
昭和50年5月10まで

3、第一次試験場所
(イ)福岡市
城南高等学校
福岡市西区茶山
(ロ)北九州市
小倉西高等学校
小倉北区下到津
(ハ)飯塚市
嘉穂高等学校
飯塚市飯塚
(ニ)久留米市
明善高等学校
久留米市京町

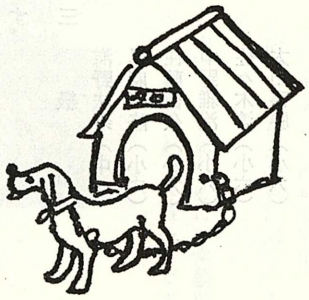
ただし大学卒業者については福岡市城南高等学校に限る

4、受験資格
昭和22年4月2日から
昭和32年4月1日までに生まれた男子

5、第一次試験合格者発表
昭和50年6月上旬

6、第二次試験日
昭和50年6月下旬

なお、詳細については田川警察署人事係にお問い合せ下さい。



正しい犬の飼い方をしましょう

最近、犬による被害が福岡県内に相ついで発生し、大きな社会問題となっています。我が子のように可愛いい犬でも飼い方を誤ると人にかみついたり、田畑を荒したりして大変人に迷惑をかけます。

犬を正しく飼うにはつぎのようなことを守りましょう。

1　畜犬登録をうけましょう。生後九十一日以上の犬は毎年一回役場に登録し、鑑札をうけ犬の首輪につけて下さい。

2　狂犬病予防注射をうけましょう。

狂犬病はいったん発病すると絶対に助からない最も恐ろしい人畜共通の伝染病です。

犬には必ず年二回（春、秋）の狂犬病予防注射を受けさせ、注射済票を首輪につけて下さい。

3　犬はつないで飼い、毎日引綱で運動させましょう。

4　犬は絶対にすてないこと。不用犬は子犬、親犬でも役場または、保健所に届け出、ひきつけて下さい。（遠方のところはこの限りでない）犬をすてることは危険な野犬をふやす最大の原因となります。

5　こう傷癖のある犬は必ず口鋼をするか、つないで下さい。

犬舎の破損しているものは、修理をして犬がとび出ないようにしましょう。

6　犬はエサとすみかがあればすみつきやすい。空家、床下など犬がはいりこみやすいので犬が入らぬようにふさいでおいて下さい。又、ごみ箱などフタをピシッとして犬があけないようにすること。

ビニール袋利用の家庭は夜間は家庭内におき外に出さぬこと。

7　放し飼いしている犬の七～八割は飼犬である。野犬は二～三割にすぎない。

森永ひ素ミルク飲用者の調査について

昭和30年森永乳業株式会社徳島工場で製造された、ひ素混入のドライミルクに起因する食中毒事件は近畿、西日本を中心として発生し当時、県下で六百三十一名の乳児が罹患し、五名の死亡者を出しましたが、この大事故が発生してからすでに20年を経過いたしました。

その後、当時の被害者で、現在身体上なんらかの不健康を訴えているものもあることから、厚生省はこれら被害者の継続的健康管理及び治療、養護並びに生活保障等の恒久的救済対策を講ずるため、森永ミルク中毒の「子供を守る会」と協議のうえ、財団法人「ひかり協会」を設立させ、これを認可して被害者救済の実行機関として救済措置が講ぜられることになりました。

この救済事業の対象者は、当時の患者のみでなく、森永ひ素ミルクを飲用した事実が明らかなものについても適用されることから、全国的に未確認飲用者の、は握調査が実施されることとなり、従って福岡県においても県下一斉に調査を実施いたしますので調査対象者は田川保健所にお問い合せ下さい。

救急車出動範囲について

最近、救急出動を要請される方の中に、タクシーその他の手段で医師の診察を受ける場合が数多くあります。

いわゆる緊急性のない傷病者でも救急車を要請する事例が増加する傾向にあります。

このような状態では真に緊急を要する救急出動に支障をきたすようになりますので、住民の皆様の御理解と御協力をお願いします。

なお、田川地区消防署より次のようお願いします。

1、救急要請の範囲
(イ)災害による事故の傷病者で救急車でなければ運べない人
(ロ)集団事故および交通事故で救急車でなければ運べない人
(ハ)一般事故（屋内および屋外においておきた事故で傷病者を病院等に早く運ばねばならない人で適当な手段がない場合）
◉歯痛などかるい傷病には救急車は使用できません。

2、救急事故を通報する場合は、次の要領でお知らせ下さい。
(例)
(イ)場所
○○町○丁目○○方
(ロ)目標
○○学校附近
(ハ)状況
事故種別、症状○名